



問題点

- 日常生活動作だけに着目して、疾病へのアプローチが不十分
- 医師と介護支援専門員の連携は重要だが阻害している要因が不明
- 総合病院と介護支援専門員が連携を図れない阻害要因が不明
- 介護支援専門員が、本当に医療連携が必要と感じているのか不明

ネット

状況の把握及び改善の必要性

- アンケート調査の実施
医療と介護の双方の印象、協力できる程度 等の確認
- 町内居宅支援事業所ネットワーク会議を設置
行政及び包括職員が、顔の見える関係づくりの場として設置
- 介護支援専門員研修の開催
医療スタッフと渡り合える、洞察力、観察力強化の長期研修を実施

これにより

地域ケア会議開催

ケアマネタイム導入

総合病院との関係強化

ケアマネアセスメント能力向上

これからの取り組み

- 医療連携シートの作成
……医療との連携統一シートの作成を町内居宅支援事業所ネットワーク会議で検討、作成
- 地域ケア会議の開催
……6月より試験的に月1回ペースで地域ケア会議を開始
- 広域医師会へのアンケート実施
……王寺周辺広域7町医師会に対してケアマネタイム導入等のアンケート実施
- ケアマネタイム導入後の評価
……医師会及び介護支援専門員に対して利用頻度等の評価を実施

ネット

今後の課題

- 歯科医師会との連携
……第三次予防を考えると口腔ケアが重要だが、歯科医師が訪問支援が出来ない課題の把握及び介護支援専門員に対して必要性等の確認を、アンケート等の手法で検討していく
- 個人課題から地域課題への転換
……地域ケア会議で提出される個人課題に対して、地域課題へ転換していくか、行政、包括等の体制づくり及び住民への啓発方法を検討していく必要がある

地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み事例（様式）

①町名	河合町
②人口	18,946人（平成25年3月末日）
③高齢化率	30.86%（65歳以上 5,847人）
④取組の概要	介護支援専門員より、精神疾患及び認知症患者の在宅における医療との連携を図りたいと要望があり、町医師会に持ちかけたところ、精神科の専門職は不在だが、連携は重要であるとのことから、医療と福祉の会議を設置する。その中で、双方等に精神疾患への取り組みが不明瞭とのことから、近隣の精神科病院に依頼を行い、合同研修会を開催する。その際にアンケートを回収し、精神疾患への支援では評価を頂くも、医療との連携（顔の見える関係づくり）としては不完全であったため、町医師会及び町内居宅支援事業所を中心にアンケート実施（ケアマネタイム）の承諾を頂き、町医師会、近隣総合病院、居宅支援事業所に対してアンケートを実施。内容は、双方の印象、ケアマネタイムの導入有無、カンファレンスへの参加有無、サービス利用への促し等を確認。
⑤取組の特徴	アンケート単発で実施しているのではなく、並行して、介護支援専門員が、医療従事者に対しても要点を絞って相談が出来るように年間を通じた介護支援専門員研修を実施。また、町内居宅支援事業所だけを対象に24年度より地域ケア会議を実施する。アンケートの実施も、町内医師会に留めず広域圏の医師会に相談を行い承諾が取れば、広域圏までケアマネタイムの導入等のアンケート実施していく予定である
⑥開始年度	平成24年度より
⑦取組のこれまでの経緯	平成23年 <ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員定例会議にて。精神疾患における医療との連携課題が定義される 町医師会へ相談を行い、医師とケアマネの定期的会議の設置を承諾される 平成24年 <ul style="list-style-type: none"> 隔月で、事例検討を交えて定例会議を開催するが、精神疾患に関しては医師会も不明瞭な点が多く、合同の研修会を希望される 医療福祉連携研修会を開催する 精神分野における連携に関しては評価が出来たが、全体的な医療との連携に関しては評価できない状況であったが、医療、福祉連携会議も終焉していった ケアプランチェック及び同居家族者への意見書を包括が作成するにあたり、医療との連携が図れていない現状、アセスメント出来ない現状が見受けられたために、町内居宅支援事業所ネットワーク会議を設置し、包括が抱える課題、提案を協議 次年度に向けて、アンケートの実施、介護支援員研修会の実施、地域ケア会議の試験的实施を決める 平成25年 <ul style="list-style-type: none"> 医療、福祉連携アンケートの実施 地域ケア会議の試験的实施 町内居宅支援事業所ネットワーク会議 介護支援専門員研修会開催
⑧主な利用者と人数	河合町医師会 10名 近隣総合病院 19か所 居宅支援事業所 41名 町内居宅支援事業所 7名 認知症グループホーム 3名 介護支援専門員研修 40名
⑨取組の実施主体及関連する団体・組織	実施主体 地域包括支援センター 関連団体 河合町医師会 ・ 居宅支援事業所 ・ 近隣総合病院
⑩河合町の関与	地域包括支援センターの24年度の評価及び25年度計画を福祉政策課と協議を行い、役割分担を行っている。その際に予算措置の協議を並行して行っている。予算的措置及び関連団体への橋渡し、バックアップを河合町が行っている
⑪国・県の関与	国：介護支援専門員研修に、民間振興事業補助金を活用（260千円） 県：事業展開における助言を頂いている
⑫取組の課題	医師から見たケアマネの印象は、普通であるが、ケアマネから見た医師の印象が、高圧的で、話にくいとなっており、ケアマネの心の壁を壊すことをしないと本当の医療連携が図れないと考えている。そのため、介護支援専門員研修を今年度から実施していくが、どの程度の評価が得れるかは、少し先になると考えられる。また、内科的な連携だけでなく、歯科医師会との連携も重要と考えられ、今後町歯科医師会にどのようにアプローチを行っていくかの課題がある
⑬今後の取り組み予定	・アンケート結果により医師連絡のための様式統一の希望があり、町内居宅支援事業者ネットワーク会議にて協議予定 ・王寺周辺広域7町医師会へのアンケート協力依頼（25～26年度）
⑭その他	
⑮担当部署及連絡先	河合町包括支援センター 0745-57-0200 内線 186